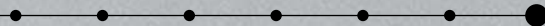
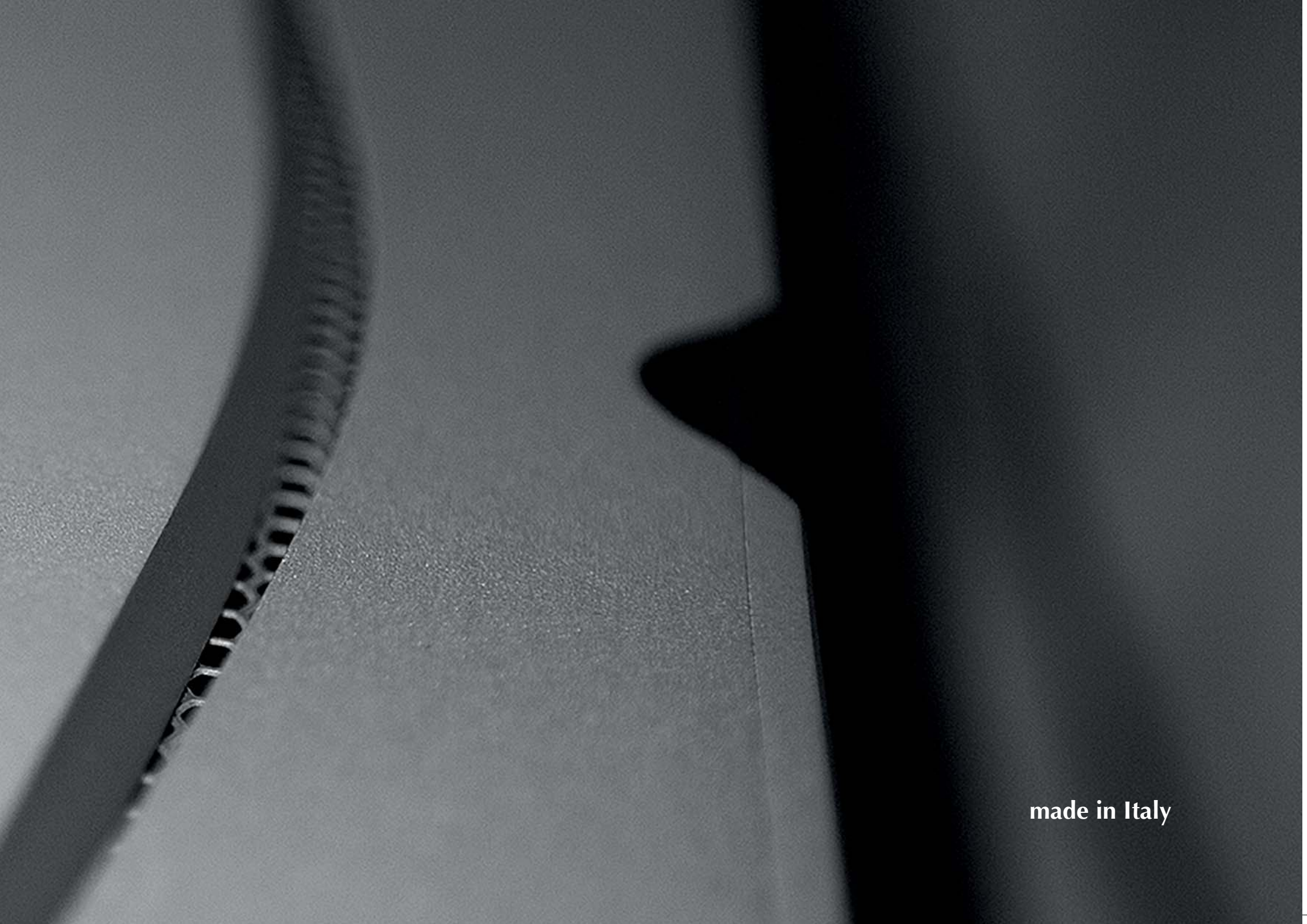


AUDIA
FLIGHT

AUDIA
FLIGHT





made in Italy

COMPANY AUDIA FLIGHT



Massimiliano Marzi



Andrea Nardini

STARTED IN '96

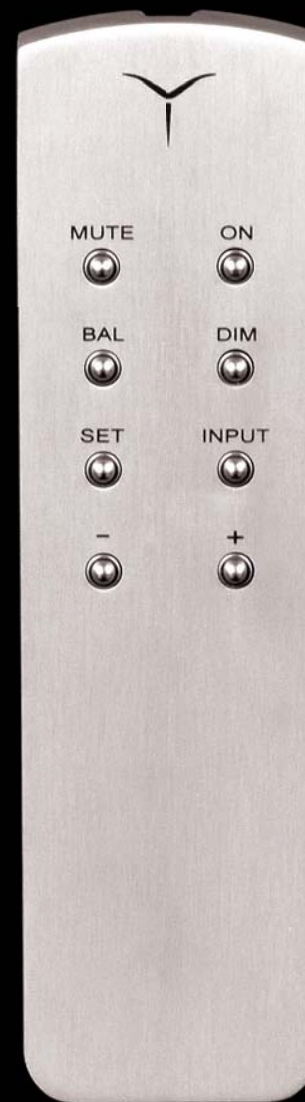
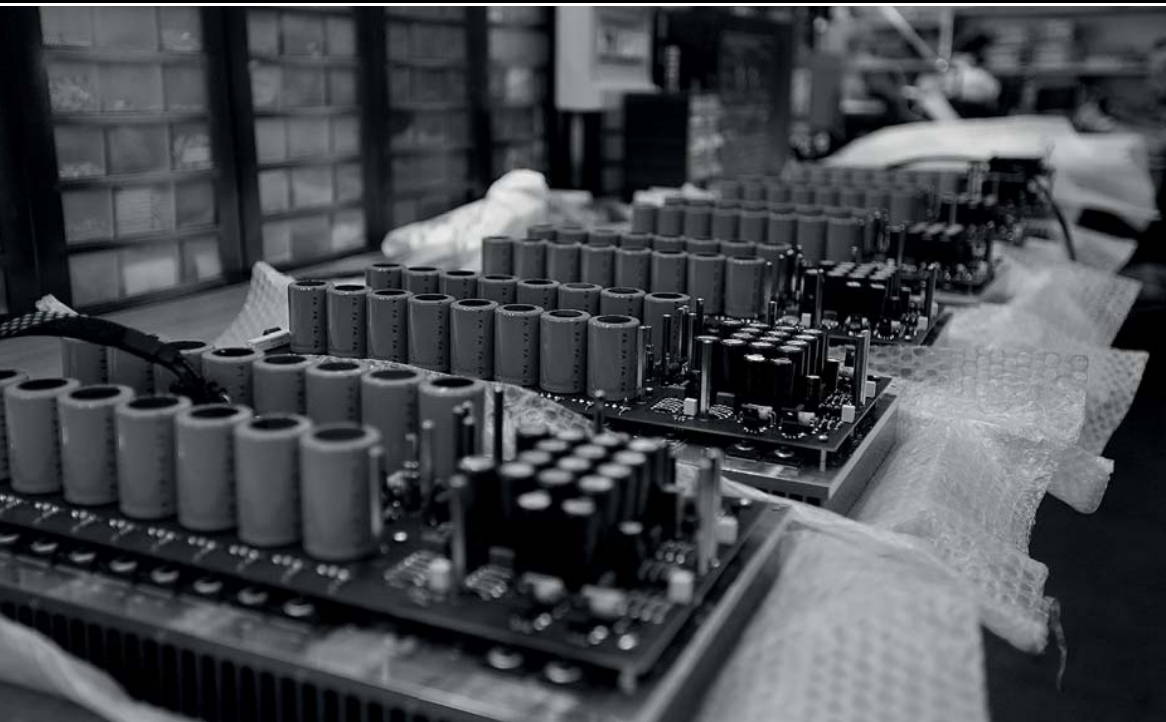
AUDIA社は1996年にMassimiliano MarziとAndrea Nardiniの2人によって設立されました。ローマから西に70km程離れたCivitavecchiaという港町に設立されたAUDIA社は最高のオーディオ機器を提供すべく、全ての製品が完全手作りで製造されています。

前職の電力会社で制御基盤の設計を行っていた2人の趣味はオーディオで、毎晩のようにイタリアンワインを飲みながら音楽を楽しんでいました。より良い音をと熱心にオーディオに情熱を傾ける彼らは、次第にその電子基盤設計のノウハウを生かし自身が理想とするオーディオ機材を製作できないかと試行錯誤を始めます。

1994年から2年間に研究に費やし、従来の一般的な電流帰還回路ではハイスピードトランジェントや複雑なロードに対応できず、オーディオ信号が不正確になってしまう事に気づきます。その後の研究で2人はその問題を解決する独自の電流帰還回路設計を完成し、ハイスピード・広帯域で正確な音声信号増幅・伝送を行う事に成功しました。

1997年に初のパワーアンプ「Flight 100」を発表して以来、AUDIA製品は世界中の多くのオーディオファイルに支持されています。





AUDIA
FLIGHT

AUDIA FLIGHT STRUMENTO SERIES

THE SUM OF OUR EXPERIENCE

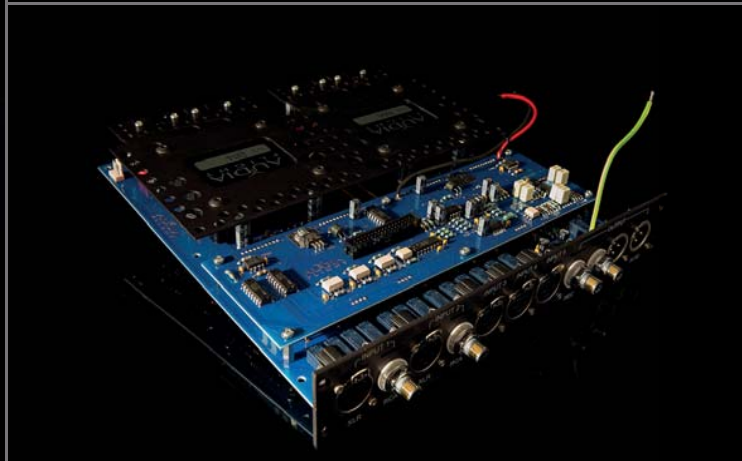
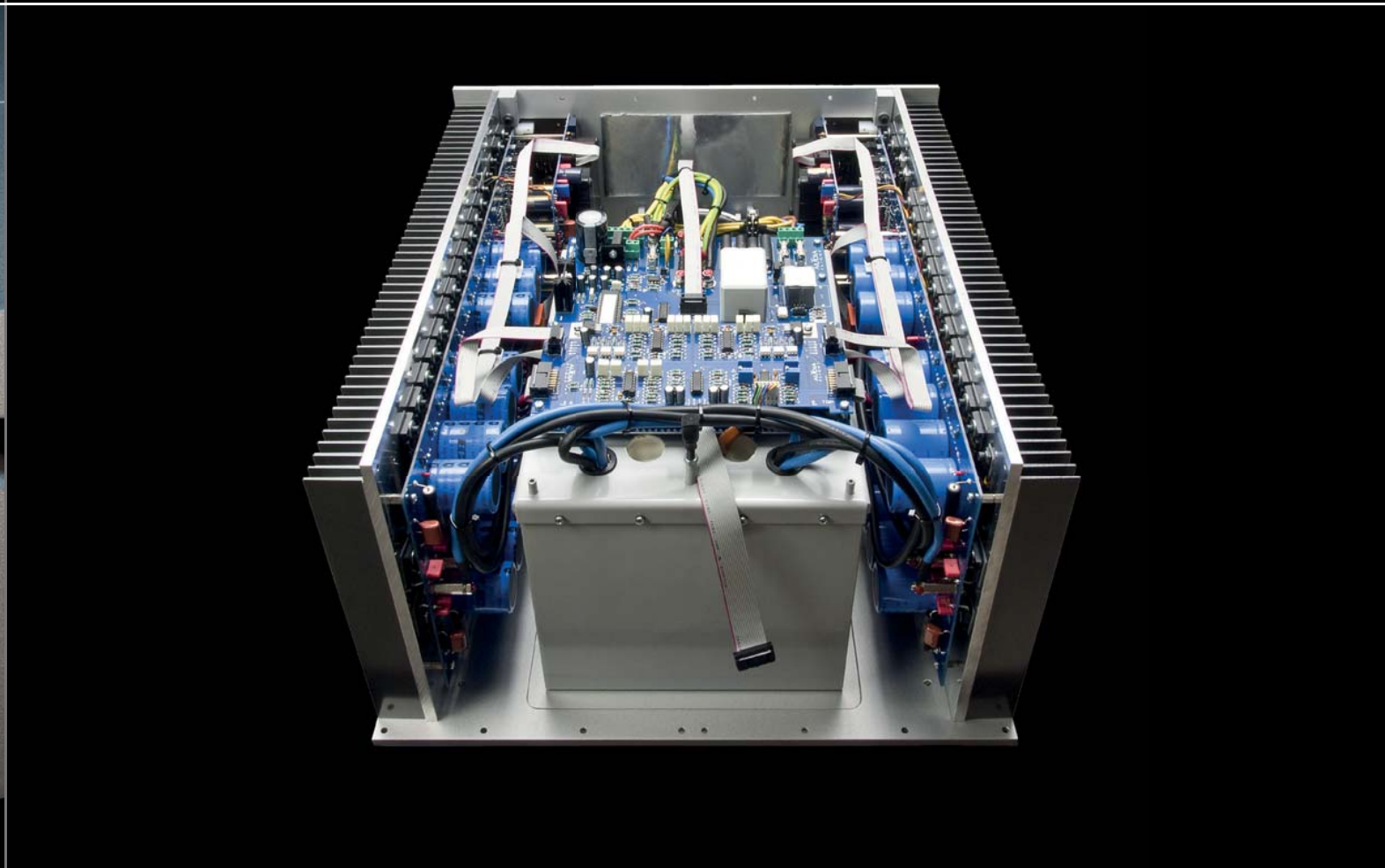
過去のFLIGHTで培った設計技術をフルに活用し、3年以上の開発期間を経て登場したAUDIAのフラッグシップシリーズがStrumentoシリーズです。

AUDIA伝統の電流機関回路を極め、オーディオの命とも言える電源には最大3000VAの巨大トランスを使用するなど、フラッグシップらしい一切妥協の無い造りになっています。

シャーシはスイス製の特注アルミ素材を使用し、それを自社工場の職人が磨き上げチリ合わせを行った後にアルマイト処理を実施。

AUDIA最高峰にふさわしい音の豊かさと造形美があります。





AUDIA FLIGHT STRUMENTO N°1 MK2

PREAMPLIFIERS

STEREO PREAMPLIFIER

- ボディは高級アルミキャストを使用。CNC加工後にシャーシを手作業で鏡面仕上げにし、その後に最終表面加工を行う事により、非常に美しい外観を実現。
- 電源部には4つのトroidalトランスを搭載(L/Rチャンネル用にそれぞれ75VA、コントロール回路用に25VA、そしてロジックボード用に15VAを使用)。それら全てのトランスは専用電磁シールドケースに格納され、エポキシ樹脂を充填。
- メイン電源は独自の超低ノイズ技術が施され、超高速整流器と40個の680 μ F 100V超低インピーダンス電解コンデンサを使用。電解コンデンサにはEMIシールド並びにダンピングシートが取り付けられており、高音質の維持に寄与。
- メイン電源は+/-60V, +/-18Vで8つの電圧ステージ供給。プリアンプとしては非常に高電圧な+/-60V駆動を出力段回路に採用する事によりよりダイナミック感のある音楽を提供。
- 内部回路はL/Rチャンネル完全ディスクリートのフルバランス回路を採用。
- 内部基盤は全て2mm厚のPCB基盤を使用し、パターン部の銅材は一般的な厚みの約3倍に相当する100 μ 厚を使用。電子の流れを可能な限りスムーズにし高音質を維持。
- 独自の「コンスタントインピーダンスボリュームコントロール」を搭載。このボリュームコントロールは低ノイズ金属箔抵抗とリレーが使用されており0-90~-30dB間は1dB刻み、-30dB~+10dB間は0.5 dB刻みで調整が可能。この独自技術により周波数特性1Hz~1MHz -3dB、スルーレート200V/ μ という驚異のスペックを達成し、従来のプリアンプとは一線を画す音楽表現力を提供。
ボリューム回路においても完全ディスクリート構造となっており、チャンネル間のクロストーク要素を全て排除。
- ゲインステージではAUDIA独自の電流フィードバック回路を採用し、L/Rチャンネル完全ディスクリートで純A級バイアス動作。ゲインステージ基盤はアルミ製エンクロージャーに格納されており、動作時温度を一定に維持。また、内部はエポキシ樹脂が充填されており、エンクロージャ外部では大型アルミプレートを放熱目的で設置。
- AUDIAの長年の研究により厳選された高電流・低ノイズ出力段回路は、A級バイアス動作のMOSFET (電界効果トランジスタ)を使用。
- リアパネルにはモジュールユニット(発売予定) 2 枚がビルトイン可能なスロットを装備

Optional Cards (発売予定)

- MM/MC フォノボード (アンバランス)
- MM/MC フォノボード (バランス)
- RCA ボード (RCA入力 x 2追加)
- XLR board ボード (XLR入力 x 2追加)
- DAC ボード: 32bit 768kHz & DSD512 USB入力 (ガバナニック絶縁)
4 x デジタル入力 (1 x オプティカル, 1 x AES/EBU, 2 x SPDIF) 32bit, 192kHz (ガバナニック絶縁)
768kHz/32bitアップサンプリング機能

TECHNICAL DATA

入力： バランスXLR／アンバランスRCA x 2
バランスXLR 専用x 3

出力： バランスXLR x 2、アンバランスRCA x 1

ゲインレンジ： -90dB/+10dB

ゲイン調整精度： 0.5dB (-90dB~30dBは1dB)

周波数特性 (1 W RMS -3 dB)： 1Hz~1MHz

スルーレート (@ 8 ohm)： >200V/ μ S

THD： <0.05%

S/N 比： 105dB

入力インピーダンス： 10pF 15k Ω
(バランスまたはアンバランス)

出力インピーダンス： 5 Ω

電源 (50/60 Hz)： 100VAC

スタンバイ消費電力： 0.5W以下

定格消費電力： 90W

本体寸法： 450 x 120 x 450mm (WxHxD)
重量： 28kg

梱包寸法： 580 x 300 x 580mm (WxHxD)
梱包重量： 40kg

付属品： リモートコントローラ



標準価格： ¥2,500,000 (税抜)



AUDIA
FLIGHT

AUDIA FLIGHT STRUMENTO N°4 MK2

AMPLIFIERS

Stereo Sound
Grand Prix
2016



STEREO POWER AMPLIFIER

- ボディは高級アルミキャストを使用。CNC加工後にシャーシを手作業で鏡面仕上げにし、その後に最終表面加工を行う事により、非常に美しい外観を実現。
- L/Rチャンネル完全ディスクリートバランス回路搭載。
- ゲインステージの電源供給は独自の超低ノイズ技術が使用され、超高速整流器や超低インピーダンスコンデンサを使用。
- ゲインステージはL/Rチャンネル完全ディスクリート構成で純A級バイアス動作のAUDIA独自の電流フィードバック回路により再生帯域0.3Hz~1MHz
スルーレート200V/ μ s以上という驚異のスペックを実現。また、ゲインステージ基盤はアルミ製エンクロージャーに格納されており、動作時温度を一定に維持。
内部はエポキシ樹脂が充填されており、エンクロージャ外部では大型アルミプレートで放熱目的で設置。
- 音質を最大限高める為に出力段には3000VAの特殊U+Iコアトランスが使用され、エポキシ樹脂が充填された二重の電磁シールドケースに収納。更にこの
シールドケースをメイン筐体から独立させ隔離する事によりトランスの振動を完全に遮断。
更に2つの150VAトロイダルトランスがメインステージで使用され、15VAトランスをロジックボード用に使用。
- 出力段のフィルタコンデンサは、コンピュータグレードの超低インピーダンス10,000 μ F/40Vを28個使用。
- AUDIAの長年の研究により、ゲインステージには厳選されたMOSFET(電界効果トランジスタ)を高電流・低ノイズのA級バイアス動作で使用し、出力段には
バイポーラトランジスタをAB級動作させるというコンビネーションを採用。
- 出力段にはチャンネル当り6/平行接続されたバランス回路構成のパワーユニット2台がBTL接続される事で、強力な電源部との相乗効果で広帯域ハイスピード
なドライブ力を実現。
- 音質の劣化を防ぐ為、電源部の出力段にはヒューズを一切使用せずマイクロプロセッサで電流測定をし、電磁スイッチで保護。
- 内部基盤は全て2mm厚のPCB基盤を使用し、パターン部の銅材は一般的な厚みの約4倍に相当する130 μ 厚を使用。電子の流れを可能な限りスムーズにし
高音質を維持。

TECHNICAL DATA

STRUMENTO N° 4 MK2 /// AMPLIFIERS

定格出力（チャンネル当り）Wrms @8/4/2Ω：
250 / 500 / 900W

ゲイン： 29dB

入力感度： 1.41Vrms（アンバランス）
0.7Vrms（バランス）

周波数特性 (1Wrms, -3dB)： 0.3~1MHz

スルーレート(@80Ω)： >200V/μs

THD： <0.05%

S/N比： 110dB

入力インピーダンス（アンバランス）： 7.5kΩ

（バランス）： 7.5kΩ

ダンピングファクター(@8Ω)： >1000

電源 (50/60 Hz)： 100VAC

スタンバイ消費電力： 1W以下

定格消費電力（無信号時）： 400W

消費電力(260Wrms @8Ω両チャンネル駆動時)： 1000W

寸法： 450 x 280 x 500mm (W x H x D)

重量： 95kg

梱包寸法： 580 x 410 x 700mm (W x H x D)

梱包重量： 125kg



標準価格： ￥3,300,000（税抜）



日本仕様はスピーカ端子がMundorf製となります



AUDIA
FLIGHT



MONO-BLOCK POWER AMPLIFIER

Precision
power
velocity.

- ボディは高級アルミキャストを使用。CNC加工後にシャーンを手作業で鏡面仕上げにし、その後に最終表面加工を行う事により非常に美しい外観を実現。
- 完全ディスクリートバランス回路搭載。
- ゲインステージの電源供給は独自の超低ノイズ技術が使用され、超高速整流器や超低インピーダンスコンデンサを使用。
- ゲインステージは完全ディスクリート構成で純A級バイアス動作のAUDIA独自の電流フィードバック回路により0.3Hz~1MHzスルーレート200V/ μ s以上という驚異のスペックを実現。また、ゲインステージ基盤はアルミ製エンクロージャーに格納されており、動作時温度を一定に維持。
内部はエポキシ樹脂が充填されており、エンクロージャ外部では大型アルミプレートを放熱目的で設置。
- 出力段フィルタコンデンサは、コンピュータグレードの超低インピーダンス6,800 μ F/100Vを28個(190,400 μ F)使用。
- 音質を最大限高める為に出力段には3000VAの特殊U+Iコアトランスが使用され、エポキシ樹脂が充填された二重の電磁シールドケースに収納。
更にこのシールドケースをメイン躯体から独立させ隔離する事によりトランスの振動を完全に遮断。更に2つの150VAトロイダルトランスがメインステージで使用され15VAトランスをロジックボード用に使用。
- AUDIAの長年の研究により、ゲインステージには厳選されたMOSFET(電界効果トランジスタ)を高電流・低ノイズのA級バイアス動作で使用し、出力段にはバイポーラトランジスタをAB級動作させるというコンビネーションを採用。
- 出力段には12/parallel接続されたバランス回路構成のパワーユニット2台がBTL接続されている事で、強力な電源部との相乗効果で広帯域ハイスピードなドライブ力を実現。
- 音質の劣化を防ぐ為、電源部の出力段にはヒューズを一切使用せず、マイクロプロセッサで電流測定をし、電磁スイッチで保護。
- 内部基盤は全て2mm厚のPCB基盤を使用し、パターン部の銅材は一般的な厚みの約4倍に相当する130 μ 厚を使用。
電子の流れを可能な限りスムーズにし、高音質を維持。

TECHNICAL DATA

STRUMENTO N° 8 /// AMPLIFIERS

定格出力 $W_{rms}@ 8/4/2 \Omega$:
500 / 1000 / 2000 W

ゲイン : 29dB

入力感度 : 2Vrms(アンバランス) 1Vrms(バランス)

周波数特性 (1Wrms, -3dB) : 0.3 Hz ~ 1 MHz

スルーレート (@80Ω) : >200V/μS

THD : <0.05%

S/N比 : 110 dB

入力インピーダンス (アンバランス) : 7.5kΩ
(バランス) : 7.5kΩ

ダンピングファクター (@8Ω) : >1000

電源 (50/60Hz) : 100VAC

スタンバイ時消費電力 : 1W以下

定格消費電力 (無信号時) : 330W

消費電力 (600Wrms・8Ω負荷時) : 1100W

寸法 : 450 x 280 x 500mm (W x H x D)

重量 : 95kg

梱包寸法 : 580 x 410 x 700mm (W x H x D)

梱包重量 : 125kg



標準価格 : ￥7,600,000/ペア (税抜)



日本仕様はスピーカー端子がMundorf製となります



AUDIA
FLIGHT

AUDIA FLIGHT FLS SERIES

THE NEWEST LINE

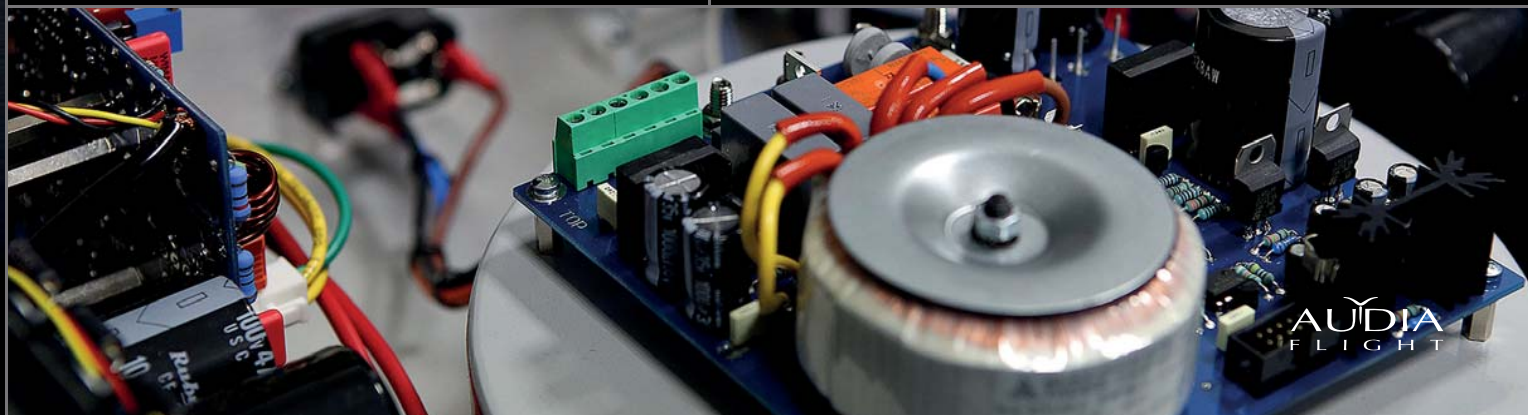
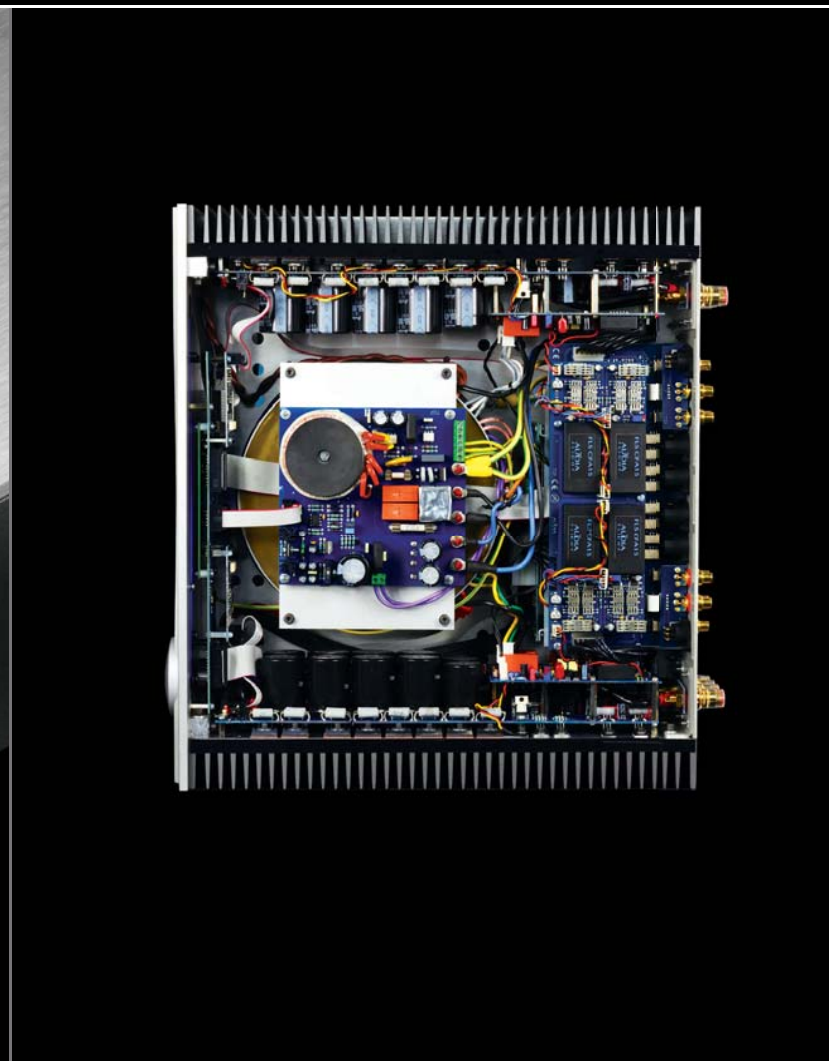
AUDIAの最新シリーズ “FLSシリーズ”

その回路設計にはこれまでの経験と、AUDIAのフラッグシップモデル Strumentoで培った新技術が盛り込まれています。

AUDIA伝統の電流機関回路はもちろんの事、拘りぬいた電源部品やトランジスタを使用。同価格帯製品群の中でトップクラスの2000VAトランスを使用し (FLS4, FLS10)、0.3Hz~0.7MHzという群を抜く広帯域再生を実現。

FLSシリーズにはAUDIAの20年間の歴史と技術が詰め込まれています。





AUDIA FLIGHT FLS1

PREAMPLIFIERS

STEREO, FULL BALANCED PREAMPLIFIER WITH HEADPHONE AMPLIFIER

- ゲインステージはデュアルモノラルのフルバランス純A級バイアス動作のAUDIA独自のカレントフィードバック回路を使用。再生帯域0.3Hz~500kHz (-3dB)、スルーレート100V/ μ SというAUDIAの特長であるハイスピード・広帯域の哲学をしっかりと受け継いでいます。
また、トランジスタもFLS1専用に最適な組み合わせが採用されており、ドライブ段ではバイポーラ、出力段では高バイアスMOSFETが採用され純A級動作となっています。
- FLS1では電源供給用に3つのトランスが金属シールドに格納され、安定かつ強力な電源を供給。108VAトランスがアナログ回路・アナログ増幅回路部・並びにヘッドホンアンプ用に使用され、30VAトランスがロジックボードとリレーに使用されています。そして3つ目の60VAトランスがデジタルオプションボード用に用意されています。
- 増幅回路のメイン電源部はStrumento n1 mkIIのコンセプトが踏襲されており、各チャンネル20個の1500 μ F/63Vのコンデンサを使用した超低ノイズ電源を採用。
それらの上には分厚いダンピングシートを設置。振動による音質悪化を防ぎます。
さらに、Strumento n1 mkII同様プリアンプとしては非常に高圧な $\pm$ 50V駆動を出力回路に採用する事により、S/N感の改善や、よりダイナミック感のある音楽を提供します。
- ボリューム調整には高音質のMUSE572320を使用。更にロジックボードとの通信を直接ではなくISO7330ガルバニックアイソレータを経由させる事により、ロジック回路とアナログ回路部を完全分離。ロジックボード内で使用されているオシレータ等の影響をアナログ部へ一切伝えない構造となっています。
- REC出力、ヘッドホン出力端子搭載。ヘッドホンアンプは出力段に2個の10,000 μ Fコンデンサを使用し、AUDIA独自のカレントフィードバック回路を採用。

Optional Cards

- ・ MM/MC フォノ ボード (アンバランス)
- ・ MM/MC フォノ ボード (バランス)
- ・ RCA入力端子追加ボード (RCA x 2)
- ・ XLR入力端子追加ボード (XLR x 2)
- ・ DACボード: USB入力 x 1 (ガルバニック絶縁)
32ビット 768KHz, DSD512
デジタル入力 x 4: (光 x 1, AES/EBU x 1, SPDIF x 2)
32ビット, 192KHz (ガルバニック絶縁)
アップサンプリング 32ビット 768KHz



標準価格：¥ 350,000 (税抜)



標準価格：¥ 90,000 (税抜)



標準価格：¥ 150,000 (税抜)

TECHNICAL DATA

入力： アンバランス (RCA) x 3、バランス (XLR) x 2

出力： アンバランス (RCA) x 1、バランス (XLR) x 1
アンバランスREC (RCA) x 1

ゲインレンジ： -90dB/+10dB

ゲイン調整精度： 0.5dB (-90~-30dBは1dB)

周波数特性 (-3dB)： 0.3Hz~500kHz

THD： <0.05%

S/N比： 110dB

入力インピーダンス： 47k Ω

出力インピーダンス： <1 Ω

ヘッドホン端子出力 (チャンネル毎)： 12W Wrms
8 Ω 、10Vrms時

電源(50/60Hz)： 100VAC

スタンバイ消費電力： 1W以下

定格消費電力： 50W

本体寸法： 450 x 120 x 380mm (W x H x D)

重量： 11kg

発送時寸法： 600 x 270 x 560mm (W x H x D)

発送時重量： 15kg

付属品： リモートコントローラ



標準価格： ¥1,200,000 (税抜)



AUDIA
FLIGHT

AUDIA FLIGHT FLS4

STEREO POWER AMPLIFIER

STEREO POWER AMPLIFIER

- ゲインステージは純A級バイアス動作のAUDIA独自のカレントフィードバック回路を使用し、160V/ μ Sという高いスルーレートを実現。更に、ゲインステージ基盤はアルミ製エンクロージャに格納されており、動作時温度を一定に維持。また、内部はエポキシ樹脂を充填し振動から徹底的に保護。
FLS4は0.3Hz~700kHz(1W rms -3dB)と非常に広帯域かつ安定した動作を実現した回路構成となっており、AUDIAの特長であるハイスピード・広帯域の哲学をしっかりと受け継いでいます。
- ドライブステージおよび出力ステージはFLS4専用に最適化されたMOS-FET(電界効果トランジスタ)とバイポーラのコンビネーションで構成。
出力ステージにはAB級動作の独自回路を搭載。強力な電源部との相乗効果でスピーカに対する優れた定電圧駆動能力とドライブ力の実現に貢献。
- FLS4のメイン供給電源は16個の18,000 μ F/50V超低インピーダンスコンデンサと、エポキシ樹脂が充填された二重の電磁シールドケースに収納された2000VAのトロイダルトランスの構成。
各チャンネルの入力段・カレントフィードバック回路に合計4個の独立電源を装備し、更にロジックボードと保護回路専用15VAのトロイダルトランスを使用。声信号経路を完全に電源を分離。
- 出力段はチャンネル当り4パラレル接続されたパワーユニットが2台をBTL接続。
- 音質の劣化を避ける為、電源部の出力段にはヒューズを一切使用せず、マイクログリッドで電流測定を行い電磁スイッチで制御。
- 内部基盤は全て2mm厚のPCB基盤を使用し、パターン部の銅材は一般的な厚みの約4倍に相当する130 μ 厚を使用。電子の流れを可能な限りスムーズにし高音質を維持。
- ゲインステージの電源供給は独自の超低ノイズ技術が採用され、超高速整流器や超低インピーダンスコンデンサを使用。
- デュアルスピーカ端子搭載でバイワイヤ接続が可能。
- バイアンプ駆動対応XLR出力端子搭載。
- ボディはスイス製の高級アルミキャストを使用。CNC加工後にシャーシを手作業で研磨を行い、その後に最終表面加工を実施し、美しい外観を実現。

High-end
audio
sound.

TECHNICAL DATA

FLS4 /// STEREO POWER AMPLIFIER

定格出力（チャンネル当たり） RMS @ 8/4/2Ω：
200 / 380 / 700 W*

ゲイン： 29dB

入力感度： 14.1Vrms

周波数特性 (1 W RMS -3 dB)： 0.3Hz~0.7MHz

スルーレート (@ 8 Ω)： >160V/μS

THD： <0.05%

S/N 比： 110dB

入力インピーダンス（アンバランス）： 7.5kΩ

（バランス）： 7.5kΩ

ダンピングファクター (@ 8 Ω)： >650

電源 (50/60 Hz)： 100VAC

スタンバイ消費電力： 1W以下

定格消費電力（無信号時）： 170W

消費電力 (200 W RMS @ 8 Ω両チャンネル)： 840W

製品寸法： 450 x 180 x 440mm (W x H x D)

製品重量： 34kg

梱包寸法： 575 x 280 x 545mm (W x H x D)

梱包重量： 42kg

*電流リミット未使用時



標準価格： ¥1,500,000（税抜）



AUDIA
FLIGHT

AUDIA FLIGHT FLS10

INTEGRATED AMPLIFIERS

STEREO, FULL BALANCED INTEGRATED AMPLIFIER

- ゲインステージは純A級バイアス動作のAUDIA独自のカレントフィードバック回路を使用し、100V/ μ Sという高いスルーレートを実現。更に、ゲインステージ基盤はアルミ製エンクロージャに格納されており、動作時温度を一定に維持。また、内部はエポキシ樹脂を充填し振動から徹底的に保護。0.3Hz~500kHz(1W rms -3dB)と非常に広帯域かつ安定した動作を実現した回路構成となっており、AUDIAの特長であるハイスピード・広帯域の哲学をしっかりと受け継いでいます。
- FLS10では12個の電源供給ユニットを搭載。常に安定かつ強力な電源供給。出力ステージにはAB級動作の独自回路を搭載。更に2000VAのトroidalトランスが使用され、エポキシ樹脂が充填された二重の電磁シールドケースに収納。ドライブステージおよび出力ステージに採用されたMOS-FET(電界効果トランジスタ)とパイプのコンピネーション構成との相乗効果によりスピーカに対する優れた定電圧駆動能力とドライブ力を実現。
- 出力段はチャンネル当り4/パラレル接続されたパワーユニットが2台をBTL接続。
- ボリューム調整には高音質のMUSES72320を使用。更にロジックボードとの通信を直接ではなくISO7330ガルバニックアイソレータを経由させる事により、ロジック回路とアナログ回路部を完全分離。ロジックボード内で使用されているオシレータ等の影響をアナログ部へ一切伝えない構造となっています。
- メイン供給電源は16個の18,000 μ F/50V超低インピーダンスコンデンサを使用。
- 内部基盤は全て2mm厚のPCB基盤を使用しパターン部の銅材は一般的な厚みの約4倍に相当する130 μ 厚を使用。電子の流れを可能な限りスムーズにし高音質を維持。
- ゲインステージの電源供給は独自の超低ノイズ技術が採用され、超高速整流器や超低インピーダンスコンデンサを使用。
- デュアルスピーカ端子搭載でバイワイヤ接続が可能。
- バイアンプ駆動対応XLR出力端子搭載。

Optional Cards

- ・ MM/MC フォノボード (アンバランス)
- ・ MM/MC フォノボード (バランス)
- ・ RCA入力端子追加ボード (RCA x 2)
- ・ XLR入力端子追加ボード (XLR x 2)
- ・ DACボード: USB入力 x 1 (ガルバニック絶縁)
32ビット 768kHz, DSD512.
デジタル入力 x 4: (光 x 1, AES/EBU x 1, SPDIF x 2)
32ビット, 192kHz (ガルバニック絶縁)
アップサンプリング 32ビット 768kHz.



標準価格：¥ 350,000 (税抜)



標準価格：¥ 90,000 (税抜)



標準価格：¥ 150,000 (税抜)

TECNHICAL DATA

定格出力（チャンネル当たり） RMS @ 8/4/2Ω：

200 / 380 / 700W

入力： アンバランス (RCA) x 3, バランス (XLR) x 2

出力： アンバランス (RCA) x 1, バランス (XLR) x 1
アンバランスREC (RCA) x 1

ゲインレンジ： -90dB / +10dB

ゲイン調整精度： 0.5dB (-90~-30dBは1dB)

周波数特性 (-3 dB)： 0.3Hz ~ 500kHz

THD： <0.05%

S/N比： 110dB

入力インピーダンス： 47kΩ

ダンピングファクター (on 8 Ω)： >650

電源(50/60 Hz)： 100VAC

スタンバイ消費電力： 1W以下

製品寸法： 450 x 180 x 440mm (W x H x D)

製品重量： 36kg

梱包寸法： 575 x 280 x 545mm (W x H x D)

梱包重量： 44kg

付属品： リモートコントローラ



標準価格： ¥ 1,900,000 (税抜)



AUDIA
FLIGHT

AUDIA FLIGHT THREE S

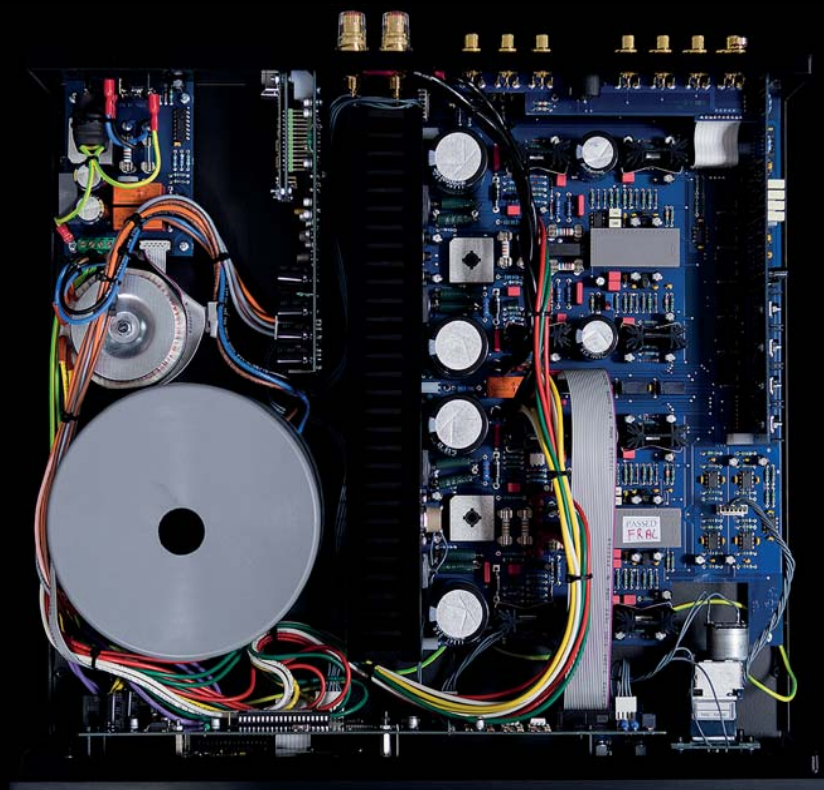
OVER 20 YEARS OF EXPERIENCE

AUDIA社20年の歴史で培われた独自のカレントフィードバック技術や
回路設計技術を駆使したプリメインアンプ

AUDIA伝統の電流機関回路はもちろんの事、拘りぬいた電源部品やトラン
ジスタを使用。電源部は576VAトランスを使用し、1Hz~450kHzという群を
抜く広帯域再生を実現。

FLSシリーズにはAUDIAの20年間の歴史と技術が詰め込まれています。





AUDIA
FLIGHT

AUDIA FLIGHT **THREE S**

INTEGRATED AMPLIFIERS

INTEGRATED AMPLIFIER

- ゲインステージは純A級バイアス動作のAUDIA独自のカレントフィードバック回路を使用し、80V/ μ Sという高いスレーレートを実現。1Hz~450kHz(1W rms -3dB)と非常に広帯域かつ安定した動作を実現した回路構成となっており、AUDIAの特長であるハイスピード・広帯域の哲学をしっかりと受け継いでいます。
- 出力ステージにはAB級動作の独自回路を搭載。更に600VAのトロイダルトランスが使用され、エポキシ樹脂が充填された二重の電磁シールドケースに収納。4つの18,000 μ F (合計72,000 μ F) のコンデンサを使用し、強力で電源を供給します。更にロジックボードへの電源供給も専用のトロイダルトランスを使用し、アナログ回路へはフォトカプラで接続。絶縁を保ち、高い音質を実現しました。
- ドライバ及び出力段はAUDIAの長年の研究によりFL THREE S専用に最適化されたMOS-FETとバイポーラトランジスタのコンビネーションで構成。スピーカに対して優れた定電圧駆動能力とドライブ力の実現に大きく貢献しています。
- フロントパネルには10mm厚のアルミパネルを使用し、ボリュームノブ、リモコンもアルミ削り出しで製作。
- 回路は全てデュアルモノラル構成。
- ダイレクト入力機能搭載(入力4)で、純粋なパワーアンプとしても使用可能。
- プリ出力、REC出力を搭載し、フロントパネルには高音質ヘッドホン出力端子も搭載。
- オプションのUSB DACボードは、最大192kHz/24bitの入力に対応。

TECHNICAL DATA

定格出力（チャンネル当り）(Wrms) @ 8/4Ω：

100/160 W

アンプ段ゲイン： 26dB

周波数特性 (@1 Watt RMS; -3 dB)： 1Hz-450kHz

スルーレート(@ 8 Ohm)： 80V/μs

THD： <0.05%

S/N比： >95dB

入力インピーダンス（アンバランス）： 51kΩ, 150pF
（バランス）： 30kΩ

スタンバイ消費電力： 0.5W以下

定格消費電力： 30W

製品寸法： 450x110x430mm (WxHxD)

製品重量： 16.5kg

製品寸法： 550x250x580mm (WxHxD)

製品重量： 18.5kg



標準価格： ¥ 580,000（税抜）

INPUT / OUTPUT

- * アンバランス入力 x 4
- * バランス入力 x 1
- * モニター出力 x 1
- * アナログ入力1系統をプリアンプ迂回設定可能
（ダイレクトアンプ設定）
- * USBデジタル入力（オプション、¥ 70,000（税抜））
192kHz/24bit DAC
- * アンバランスプリアンプ出力 x 1
- * アンバランスREC出力 x 1
- * ヘッドホン出力端子 x 1
- * フォノモジュール（オプション） 発売予定
MC/MM（入力1を使用）



AUDIA FLIGHT CD THREE S

CD PLAYER

CD PLAYER

Digital Input/Output Specification

デジタル入力：

光デジタル x 2

入力信号形式：32kHz~192kHz/16-24bit リニアPCM

RCA(S-PDIF) x 1

入力レベル：0.5Vpp

入力インピーダンス：75Ω

入力信号形式：32kHz~192kHz/16-24bit リニアPCM

XLR(AES/EBU) x 1

入力レベル：3-10Vpp

入力インピーダンス：110Ω

入力信号形式：32kHz~192kHz/16-24bit リニアPCM

USB x 1

入力信号形式：32kHz~384kHz/16-32bit リニアPCM

DSD 2.8MHz, 5.6MHz, 11.2MHz, 22.5MHz

デジタル出力：

RCA x 1

出力レベル：1Vpp

出力インピーダンス：75Ω

入力信号形式：32kHz~192kHz/16-24bit リニアPCM

- 電源へのこだわりとして電源供給には2つのトロイダルトランスを使用。アナログ基板には58VAトランス、デジタル基板には36VAトランスを専用に使用し、システム全体としての音質を飛躍的に高めています。
- 回路は全てフルバランス回路となっており、出力段はAUDIA伝統のA級ディスクリート電流帰還回路を使用。AUDIAならではの音楽表現力を発揮します。
- DACには高音質で定評のあるAKM4493EQを採用。更に各チャンネルそれぞれに専用のAKM4493EQを使用することによりDACチップ内チャンネル間のクロスフィードを完全排除。
- メイン供給電源はアナログ出力段に2 x 50V/18,000 μF、デジタル段に1 x 35V/10,000 μF、そしてDAC/アナログ段に1 x 35V/10,000 μFコンデンサを使用。
- 6つのデジタルフィルタを搭載し、様々なインパルス応答パターンを任意に選択可能。その内の一つは初代AUDIA Flight CD1のフィルタ波形も忠実に再現。
- デジタル入力は2 x 光、1 x AES/EBU、1 x SPDIF、1 x USBを標準搭載。USB入力は384kHz/32bit PCMとDSD512まで対応可能。

TECNHICAL DATA

周波数特性 (-3 dB) : 0.5Hz~20kHz (±0.1dB)

アップサンプリング(デジタル入力のみ) : 768kHz/32bit

ダイナミックレンジ : 126dB

THD: +ノイズ : >0.01%

ノイズ : >-113dB

バランス/アンバランス出力

最大出力電圧 : 2.5Vrms (RCA), 5Vrms (XLR)

出力インピーダンス : 240Ω(RCA), 480Ω(XLR)

デジタル出力 : PCM/SPDIF

定格/スタンバイ電力消費量 : 30W/0.5W以下

外寸 : 450 x 110 x 430mm (WxHxD)

重量 : 10kg

付属品 : リモートコントローラ



標準価格 : ¥460,000 (税抜)

Digital board

- * XLR入力 (AES/EBU) x 1
- * RCA入力 (SPDIF) x 1
- * 光デジタル入力 x 2
- * USB x 1
(384kHz/32bit, DSD512対応)



AUDIA
FLIGHT



eilex

総輸入販売元

アイレックス株式会社

〒185-0022 東京都国分寺市東元町3-6-13

Tel: 042-312-2887 Fax: 042-300-1175

<http://www.eilex.jp> E-Mail: info@eilex.jp

2020年1月版
製品の外観・仕様・および価格は予告なく変更する場合があります。カタログ内の写真は一部日本仕様と異なる部分があります

販売代理店

